

第34回神奈川県高等学校総合文化祭放送情報部門大会

実 施 要 領

1. 目的

神奈川県高文連加盟校のすべての生徒が参加できる大会として位置付ける。生徒が自らの感性を生かして、題材を選びアナウンス・朗読・番組で表現・研究し、発表する。さらに多くの学校の生徒がさまざまな場で自分を表現できるように、大会を運営する。また生徒の主体性を尊び、大会順位にとらわれずに生徒間の交流を重視した大会とする。

2. 主催・後援

主催：神奈川県高等学校文化連盟

神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

後援：日本工学院、ラジオ日本、FMヨコハマ、テレビ神奈川、神奈川新聞社、朝日新聞社横浜総局
毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、神奈川工科大学

主管：神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部会

3. 日程・会場

2019年11月17日(日) 県立小田原東高等学校

・作品提出(部門別受付) 8:30～ 8:50

※作品提出後、各会場にて会場説明を行います。

・顧問打ち合わせ 9:00開始

・審査 予選(アナ・朗のみ) 9:30～12:00

・情報部門審査・講評 9:30～15:00

・審査 アナ朗本選出場者発表 13:00

※アナ朗各24名(予選結果により増減する場合があります)

・審査 本選(アナ・朗)・講評 13:15～15:00

・審査 本選(AP・VM)・講評 12:00～15:00

・閉会式 16:00～17:00

4. 参加資格

2019年11月現在、県高等学校文化連盟加盟校に在籍している(「部員」である必要はない)

1・2年生とする。ただし情報部門への参加は3年生以上も可とする。

5. 部門・出場数・出場費

部 門	出 場 数	出 場 費
アナウンス	2名*	全部門無料
朗 読	2名*	
オーディオピクチャー(AP)	2本	
ビデオメッセージ(VM)	2本	
情報課題	2本	
情報自由	2本	

***アナウンスと朗読に同一の生徒は 出場できません。**

6. 表彰 *優秀賞・奨励賞については参加数によって増減することがあります。

部 門	教育長賞	高文連会長賞	優秀賞	奨励賞
アナウンス	1位	2～6位	6本(7～12位)	13本(13～25位)
朗 読	1位	2～6位	6本(7～12位)	13本(13～25位)
A P	1位	2位	4本(3～6位)	4本(7～10位)
V M	1位	2～3位	3本(4～6位)	4本(7～10位)
部 門	教育長賞	相鉄賞	優秀賞	奨励賞
情報課題	1位	2位～4位	なし	2本(5位～6位)
情報自由	1位	2位～4位		2本(5位～6位)

7. 上位大会への推薦

2020全国高等学校総合文化祭高知大会（2020年8月1～2日実施）へ推薦されるもの
アナウンス・朗読 各3名 AP1作品 VM2作品

※但し、同一校から同一部門に推薦される本数は1名・1本とする。

また、前年に全総文祭に推薦された生徒は、同一部門では推薦されない。

第17回関東地区高校放送コンクール栃木大会（2020年1月26日実施）

アナウンス3組 朗読3名 AP1作品 VM1作品

※但し、2020全国高等学校総合文化祭高知大会へ推薦されたものを除く

IT夢コンテスト2020（2020年7月実施予定）へ推薦（書類審査免除）されるもの
情報部門各1位の2校

（1位が同一校の場合は、審査員の協議の上で次点校を繰り上げとする）

8. 審査基準

- ①大会審査のため、大会審査委員長をおく。
- ②各部門とも、役員校推薦の教員と特別審査員による審査とする。
- ③特別審査員は、主催・後援各団体等より推薦されたものから選出する。
- ④審査の観点に基づき審査を行ない、規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。
- ⑤詳細は、審査員および大会審査委員長の協議による。

9. 出場申し込み

提出書類：参加申込書（公印の押されたものをPDFデータに変換）
エントリーデータ、審査員希望表（エクセルデータのまま）

※エントリーデータのパスワードは、参加申込書に記載

提出方法：**県立金井高校 吉田 健一 (k-yoshida@pen-kanagawa.ed.jp) 宛に提出書類をメールに添付**

提出期間：**2019年 10月7日(月)～2019年 10月18日(金)**

※説明会を2019年8月31日(土) 14:00(受付13:30～)より小田原東高等学校で行います。参加を予定している学校は、代表生徒1名、顧問1名で必ず出席してください。

10. 注意事項

- ① 全部門を通じ、出場申し込み後の変更は出来ません。
- ② 申し込みの確認（名前・部門・学年）内容を、Web ページ「集まれ！放送委員会！！」に掲載します。運営側の入力ミスがないか必ず確認してください。
確認期間は10月22日（火）～10月24日（木）です。
- ③ 原稿、番組進行表等・ディスクは所定部数を出場1名、1本ごとにA4の封筒に入れ、必要事項を記入し、大会当日に発表場所ごとの受付に提出してください。
- ④ **この大会に参加することにより、氏名、学校名、学年、写真等の個人情報が、ホームページ、プログラムや記録集及び新聞等のメディアに掲載・公開される場合がありますので、ご承知おきください。**なお、このことについてご質問がございましたら、高文連放送・情報専門部 事務局長へお問合せください。

問合わせ先： 坂 聖佳 〒225-0004 横浜市青葉区元石川町 4116 元石川高等学校
045-902-2692 （学校代表）

11. 各部門参加・制作規定 ※次年度の全国総合文化祭放送部門参加要領に準ずる。

全国総合文化祭放送部門参加要項（2020高知大会） 参照

A アナウンス部門

- ①内容：神奈川県の地域の話題から、全国の仲間に伝える内容のオリジナル原稿を作り、発表する。
校内の話題は不可。
インターネットから題材を選ぶことは可とするが、**必ずその場所に行き、写真を撮り、取材をして原稿をまとめること。**
J P E G形式のデジタル静止画像（1枚から5枚）を併用する。
写真は本人もしくは自校生徒が撮影したものとする。（**インターネット等からの転用は禁止**）
画像編集ソフトを用いて複数の写真を組み合わせたり文字を入れたりすることは可とする。
発表の途中から画像を表示させたいときはこの5枚とは別に黒の画像を入れることができる
- ②時間：1分30秒以内。番号、学校名、氏名を含む。
- ③審査方法：実演発表形式の100点法審査とする。
- ④計時：第1声より読み終わりまで
- ⑤ラベル：CD本体に部門名・学校名・氏名を記入すること。
- ⑥規格：J P E G形式デジタル静止画像（16：9 WXGA 解像度1366×768ピクセルとすること）
- a) プロジェクター（1台）よりパソコンからデジタル静止画像を投影。
b) 画像データはCD-Rにより提出。
c) 画像投影は発表者以外の自校生徒が操作。
d) ファイル名は神奈北高校なら「kanakita01」「kanakita02」…と投影順に名前を付ける。
e) 黒の画像を最初に表示させたいときは「kanakita00」とする。
- ⑦原稿：下記a, bのいずれかの方法で2部作成（計時用）し、必要事項を表書きした封筒（12.原稿・封筒に関する規定を参照）に入れ提出
- a) NHK杯全国高校放送コンテスト用の様式
（http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html よりダウンロード）
b) 横置き縦書きワープロ打ちA4原稿様式
（「集まれ！放送委員会！！」 <http://kanakousiken.nomaki.jp/housou/> より書式例ダウンロード）
- ⑧審査の観点
- ※校内放送原稿は不可・神奈川との関連が読みとれない原稿は不可・取材したことが不明な原稿は不可**
- a) 原稿点（素材の選び方・文章表現の確かさ・内容の深さ）
b) アナウンスの技術点（マイクの使い方・発声・発音・アクセント・イントネーション・プロミネンス・テンポ・ポーズの取り方・内容把握・表現の仕方）

B 朗読部門

- ①内容：神奈川県にゆかりのある作家及び作品の中から原文のまま一部選んで原稿とする。
CDによる効果音やBGMを併用することができる。
- ②時間：2分以内。番号、学校名、氏名、作者および作品名を含む。
- ③審査方法：実演発表審査とする。
- ④使用CD：一本のCDに1作品分を再生順に録音したものとする。
- ⑤再生：SE・BGM再生は発表者以外の自校生徒が**自校から持ち込んだ機材**を用いて操作する。
- ⑥計時：第1声より読み終わりまで。
- ⑦ラベル：CD本体に部門名学校名氏名を記入すること。
- ⑧原稿：「作品と神奈川県とのかかわり」を簡単に記入した制作意図を含め、下記a, bのいずれかの方法で2部作成（計時用）し、必要事項を表書きした封筒（12.原稿・封筒に関する規定を参照）に入れ提出
- a) NHK杯全国高校放送コンテスト用の様式
（http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html よりダウンロード）
b) 横置き縦書きワープロ打ちA4原稿様式
（「集まれ放送委員会！」HP <http://kanakousiken.nomaki.jp/housou/> より書式例ダウンロード）
- ⑨審査の観点
- ※「神奈川県とのかかわり」が不明な原稿は不可
- a) 原稿点（作品の選び方・朗読部分の抜き出し方・適切な抽出量）
b) 朗読の技術点（マイクの使い方・発声・発音・アクセント・イントネーション・プロミネンス・テンポ・ポーズの取り方・内容把握・表現の仕方）

C オーディオピクチャー（AP）部門

- ①内容：神奈川県に関する話題を取り上げ、それを全国に伝える未発表の作品。
CDによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像（25画像100MB以内）を併用する作品。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問わない。
画像は写真のほか、絵や文字を使用することができる。
他に権利のある著作物を使用する場合は所定の許諾をとり、原稿に添付すること。
- ②参加形態：すべて団体扱いとする。団体名の届け出がない場合は「学校代表」とする。
- ③時間：5分以内。
- ④計時：オーディオCDの音声が始まったところから、オーディオCDの音声が終了したところまで。
- ⑤使用CD：CD-Rは下記a,bの2枚を用意。
 - a)オーディオCD：1作品分を再生順に録音
※注意-音声を「データ形式」ではなく必ず「オーディオCD」形式で記録すること。提出前にPCではなくメーカーの異なる複数の民生機（CDラジカセ等）で最後まで問題なく再生できることを確認すること。
 - b)画像CD：1作品分を投影順に名前を付け保存。詳細は下記⑩規格を参照。
- ⑥録音・再生：ステレオ再生。
- ⑦ラベル：CD本体に部門名、オーディオ・データの別、学校名、氏名を記入。
- ⑧審査方法：音声を流しながら自校生徒によるスライド操作によって発表し100点法により審査する。
- ⑨原稿：下記a,bのいずれかの方法で2部作成（計時用）し、必要事項を表書きした封筒（12.原稿・封筒に関する規定を参照）に入れ提出
 - a)NHK杯全国高校放送コンテスト用の様式
(http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html よりダウンロード)
 - b)横置き縦書きワープロ打ちA4原稿様式
（「集まれ放送委員会！」HP <http://kanakousiken.nomaki.jp/housou/>より書式例ダウンロード）
- ⑩規格：JPEG形式によるデジタル静止画像。
 - a) プロジェクタは1台。
 - b) 25画像以内。
 - c) 画像データはCD-Rに保存。
 - d) ファイル名は神奈北高校なら「kanakita01」「kanakita02」…と投影順に名前を付ける。
 - e) 静止画像のサイズは**WXGA（16：9 1366×768ピクセル）**とする。
- ⑪審査の観点：a) テーマ点(素材の選び方・APという特性を生かした題材・効果的な表現)
b) 製作の技術点(製作の手法・取材の方法や努力・企画と構成・演出と編集・撮影、録音の技術・アナウンスやナレーションの技術・音楽や効果音の使い方・画像に合った音声の使い方)
- ⑫音源：権利が現存している音源については、正規の手段を用いて各学校で許諾申請をすること。
本大会においてはインターネット音源も著作権フリー確認がとれたものについては使用を認める。

D ビデオメッセージ（VM）部門

- ①内容：神奈川県に関する話題を取り上げ、それを全国に伝える未発表の作品。自校オリジナルのビデオ作品。
- ②参加形態：すべて団体扱いとする。団体名の届け出がない場合は「学校代表」とする。
- ③時間：5分以内。前後に5秒のテストパターン（形式は自由）を入れる。
- ④計時：番組本体についてのみ行なう。
- ⑤規格：DVD-Rビデオ形式（NTSC規格、アスペクト比16：9）とする。
神奈川県大会ではブルーレイは不可。DVDは提出前に、PCではなくメーカーの異なる複数の民生機において最後まで問題なく再生できることを確認すること。
※注意- 毎回「データ形式」で書き込まれたDVD-Rを提出する学校があります。必ず「データ形式」ではなく「ビデオ形式」で書き込むこと。提出前にPCではなくメーカーの異なる複数の民生機（DVDプレイヤー等）で最後まで問題なく再生できることを確認すること。再生できない場合、審査の対象外となります。
- ⑥ラベル：DVD本体にマジック等で部門名・学校名・氏名を記入。
- ⑦原稿：AP部門と同様
- ⑧審査の観点：a) テーマ点(素材の選び方・VMという特性を生かした題材・効果的な表現)
b) 製作の技術点(製作の手法・取材の方法や努力・企画と構成・演出と編集・録音、録画の技術・アナウンスやナレーションの技術・音楽や効果音の使い方・などビデオ制作にかかる製作技術)
- ⑨音源：AP部門と同様

E 情報部門

- ①内容：次のテーマから題材を選択し、スライドを用いたプレゼンテーションを行う。
 - a) 課題部門。「高校生が考える10年後20年後の未来社会における問題とその解決案」
…情報化社会が進む中で、私たちは高校生としてどのような提案ができるのか。
高校生らしいアイデアを創造し、その問題解決について提案をしてください。
 - b) 自由部門。「今を生きる高校生が考える諸問題とその解決法」
…進路のこと、学校のこと、友情について、自分を取り巻く社会問題など、高校生の発想で自由にテーマを決めて、その問題解決について提案してください。
- ②参加形態：すべて団体扱いとする。団体名の届け出がない場合は「学校代表」とする。
- ③時間：8分以内（準備・片付けの時間も考慮すること、発表時間も審査の対象とする。）
- ④発表形式：スクリーン1画面によるパワーポイント形式でのプレゼンテーション。
 - a) ビデオをスライドに含めることは可とするが、それが主体となる発表は不可とする。
 - b) プレゼンテーション1本につき発表者は3名までとする。
 - c) Microsoft Office PowerPoint 2013で再生できる形式であること。（提出に必ず確認すること。）
 - d) プレゼンテーション上で必要だと思われる道具等を持参しても構わない。
- ⑤提出形式：CD-Rにプレゼンテーションデータを保存して、提出する。
 - a) CD-Rは提出前に指定ソフトウェアでデータが再生できることを必ず確認しておくこと。
 - b) CD-Rには「部門名」「学校名」「発表番号」「団体名」を明記しておくこと。
 - c) 台本・スクリプトの提出は必要ありません。
- ⑥補足：会場には、以下の発表機器（ソフトウェア含む）が用意されているものとする。
 - a) ノートパソコン（Windows形式〔7SP1以上のいずれか〕）1台
 - b) Microsoft Office PowerPoint 2013（※2016の可能性もあるが、2013で再生可能であること。）
 - c) マイク2本（有線タイプ）
 - d) マイクスタンド2本（ストレートタイプ、もしくはブームタイプ）
 - e) プレゼンテーションマウス（ワイヤレスリモコン・レーザーポインタ機能付き）
- ⑦審査の観点
次の3点の基準をもとに総合的に判断し、部門ごとの審査を行う。
 - a) 発表内容（高校生ならではの視点で、研究・調査を行った上での優れた内容であったか）
 - b) 発表方法（発表方法に工夫が見られ、的確にかつ表現豊かに内容を伝えることができたか）
 - c) 発表資料（発表に適した表現豊かなスライド・資料が準備されているか）※制作に当たっては、昨年度（第33回）を含む過去の大会の審査講評もよく読むこと。「プレゼンテーション」であることを意識し、「ねらい」をはっきりとさせて情報をまとめ、発表すること。
- ⑧その他
次の点にも注意し、大会までに十分な準備を行っておくこと。
 - a) 素材を使用する場合は、著作権フリーのもの（インターネット上の素材についても可）を用いて作成するか、適切な著作権処理を行うこと。著作権処理が必要な場合は、各学校で大会開催までに行い、大会運営時には問題の無いようにし、許諾書等を提出時に添付すること。
 - b) 他のコンテスト等に応募した作品を、本大会にそのまま出品することはできない。
 - c) 昨年度（第33回）を含む過去の大会の審査講評をよく読み、きちんとデータ・情報を収集・分析・整理し、自身で作成したスライドを用いて、自分の言葉で会場にいる皆さんに説明してください。
 - d) 問題解決については、共通教科情報における「問題解決」の単元を参考にしてください。
 - e) 発表後に質疑応答を予定しています。想定される質問に対応できるよう準備しておきましょう。
- ⑨上位大会への派遣
神奈川工科大学主催のIT夢コンテスト最終審査会へ、両部門各1校、合計2校を派遣する。
※両部門とも1位が同一校の場合、審査員の協議の上で次点校を派遣する。

12. 原稿に関する規定

- ①原稿はA 4用紙に例に示すように作成する。(11. 諸規定A~D「原稿」参照)
- ②作品1人(1本)についてアナ・朗・AP・VM部門すべて2部提出する。
情報部門の台本は必要ない。
- ③アナウンス・AP・VM部門は「原稿」とCD-R又はDVD-R、朗読部門は「原稿」をA 4サイズ(角2)の封筒に入れ、封筒の表には見本のとおりに記載する
- ④封筒表書の見本

<アナウンス、朗読>

作品名	作者名	氏名	学校名	○○部門
こころ	夏目漱石	○	県立○○高等学校	A 会場 13番

<AP・VM・情報課題・情報自由>

再生時間	タイトル	制作代表	学校名	○○部門
○分○秒	△△◎◎	○	県立○○高等学校	B 会場 23番

- 注意 1 アナウンス部門は、作者名・作品名は不要。情報部門は再生時間は不要。
- 注意 2 事前にWebページ「集まれ！放送委員会！！」で発表されるエントリー一覧を見て会場名、発表順番を記入する。
- 注意 3 この規定に違反した場合、減点及び失格になる場合があります。

13. 著作権処理に関して

(1) 写真の著作権

アナウンス・AP・情報部門に用いる静止画は、制作者もしくは自校生徒が自ら撮影した画像とする。また自分が手書きで書いた画像をスキャンして取り込んだものも可とする。また一画面に複数の写真を合成したり、文字を入れて作成したりした写真も1枚と数え、使用できる。AP・情報部門において、インターネットからの画像はそれが発表の主体となる場合は認めない。インターネットからの画像や、他者に権利があると思われる画像を使用する場合は、使用許諾を取ること。

(2) 音源の著作権

朗読・AP・VM・情報に用いる音源は、原則として著作権フリー音源とする。ネット上の著作権フリー音源も使用可とする。権利を有する音源を使用する場合は、正規の手段を用いて各学校で許諾申請をすること。